

# 高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例の概要

令和8年4月21日(火)、東北町の家きん飼養農場での高病原性鳥インフルエンザを疑う事例が発生。概要は次のとおり。

## 1 発生農場の概要

- (1) 所在地 : 上北郡東北町
- (2) 飼養羽数 : 採卵鶏 約27万羽
- (3) 飼養形態 : ケージ飼い、8鶏舎 (ケージ飼い セミウインドレス)

## 2 経緯

- (1) 農場から県への通報
  - ・日時 : 4月21日(火) 11時20分
  - ・内容 : 4/16から死亡家きんが増加 (平均10羽→50羽～)
- (2) 農場への立入検査、簡易検査
  - ・中央家畜保健衛生所が立ち入りし、A型インフルエンザウイルス簡易検査を実施。
  - ・同日14時50分、10羽中10羽で陽性を確認。
- (3) 今後のスケジュール
  - ・4月22日(水) 10時 中央家畜保健衛生所での確定検査 (遺伝子検査) の結果判明、農林水産省と協議。
  - ・同日 対策本部会議開催、知事公表、疑似患畜判明後、殺処分開始

### <参考>

発生農場の周辺農場

半径3km以内 : 農場なし

半径3～10km以内 : 2農場 (122, 198羽)